

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ネヘミヤの  
おお  
大いなるかべ



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ  
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki  
監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

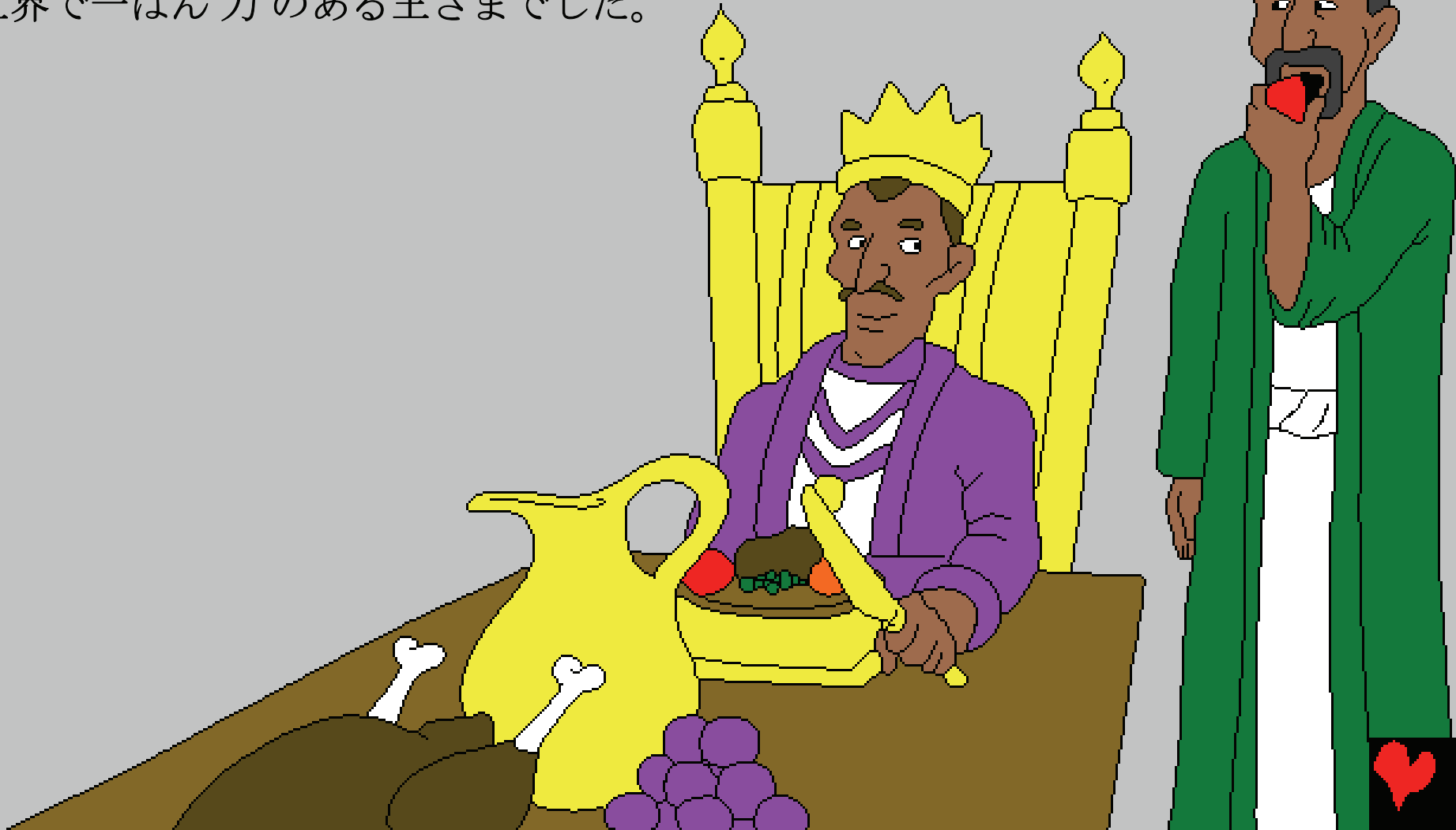
©2007 Bible for Children, Inc.

きよか 許可: たにん 他人に う 売らない限り かぎ この はなし お話の また コピー、又はプリントは、  
きよか 許可されています。



ちから くに はなし  
ペルシャという とても力のつよい国が、ありました。このお話しは、  
くに せかいじゅう  
その国が世界中で、いちばんつよかったころのことです。

おう おう  
そこの王さまアルタクセルクセス王は、  
せかい いち ちから おう  
世界で一ばん力のある王さまでした。

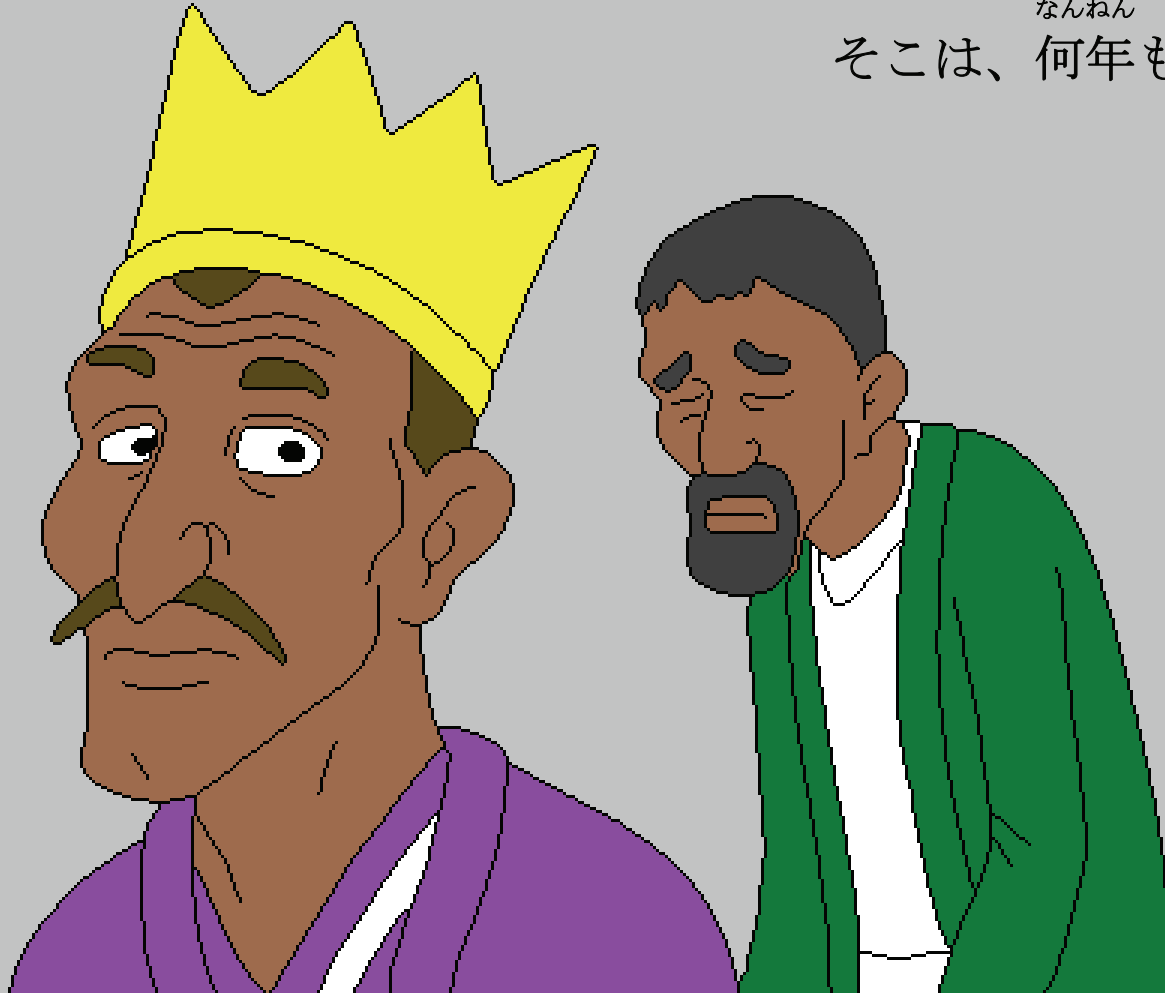




ある日、ネヘミヤは、とてもかなしそうなかおをして、  
王さまの前にやってきました。「いったい、どうしたんだろう。」王さまは、  
しんぱいです。ネヘミヤは、「王さま、どうか、ずっといつまでも、  
生きてくださいますように。」と言ってから、  
わけを話しました。



おう  
「王さま、わたしが、かなしんでいるのは、  
な ちち まち  
亡くなったわたしの父が、うずめられている町が、あれはててしまい、  
もん や  
門も焼かれてしまったからなのです。」ネヘミヤは、  
まち  
エルサレムの町のことを、言っているのですね。  
なんねん  
そこは、何年もまえに、たたかいがあり、  
ほろぼされていきました。



おう

王さまアルタクセルクセスは、たずねました。「ネヘミヤ、それじゃ、

どうしたらいいのかな？」ネヘミヤは、王さまおうにおねがいました。

「王さま、わたしをエルサレムいへ行かせてください。そうすれば、

まち町をたてなおすことが、できるのです。」

「よし、わかった。」



い  
行くがいい!」アルタクセルクセス王は、よろこんで、  
さんせいしてくれましたよ。それにね、王さまは、  
ネヘミヤがたびをしているあいだ、守ってやろうと思っ  
て、  
そこの役人への手紙も、持たせました。





おう

王さまはね、それだけじゃなくて、

たす

もっともっとネヘミヤを助けたのですよ。じつは、

ひと

か

も

アサフという人にてがみを書いて、ネヘミヤに持たせました。

おう

もり

ひと

アサフは、エルサレムの王さまの森を、かんりする人です。

か

そのてがみには、こう書かれていました。ネヘミヤが、

まち

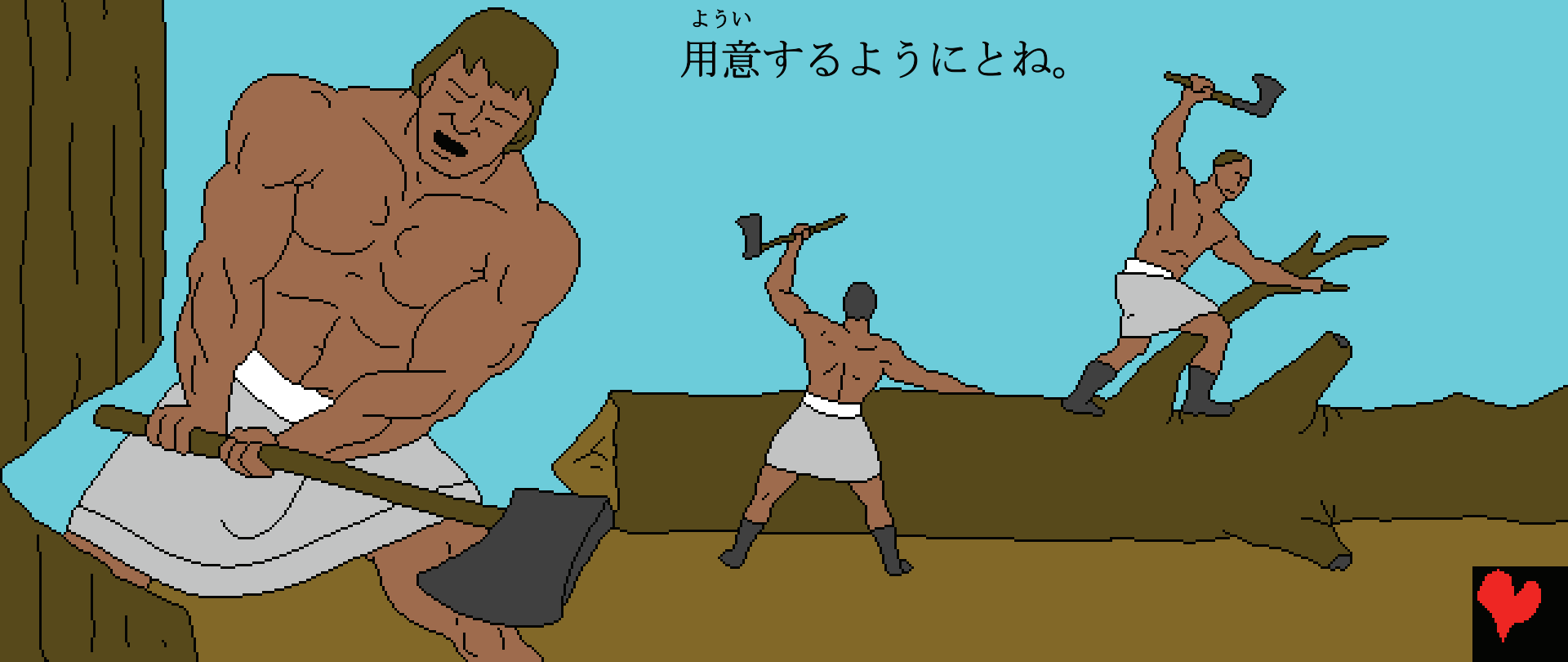
つか

もくざい

町のかべをたてるために使う木材を、できるだけたくさん

ようい

用意するようにとね。



エルサレムに着いたとき、ネヘミヤは、町の役人たちを、あつめて言いました。

「われわれは、今、たいへんなときなのだ。この町は、すっかり、ほろびてしまった。門までやかかれてしまったのだから。」



さあ、みんなであたら、新しくたてなおそうではないか。」ネヘミヤは、  
かれらにアルタクセルクセス王も、さんせいおうされていることを言いました。  
そして、何よりも一ばん大切なこと、つまり、神さまが、  
味方して下さっていることを伝えました。



ネヘミヤが、神さまを信じ求めるつよい気もちは、  
人びとに「やろう！」という気を、おこさせたにちがいありませんね。  
かれらは、うなずきあって言いました。「ようし、やろうじゃないか！」  
ネヘミヤは、それぞれの家へ行き、かべのどの部分を、  
なおさなければならぬかを知らせました。



でもね、みんながみんな、かべをたて直そうって、  
よろこんで言ったわけじゃないんですよ。

な おとこ ひと  
サンバラテという名の男の人、

ふたり とも  
それにかれの二人の友だちトビヤとゲシエムは、

じん  
ユダヤ人じゃありませんでした。



な お  
だから、かべをたて直したり、  
もん なお  
門をやり直したりした  
くなかったのです。



しごと

さて、仕事<sup>しごと</sup>がだんだんすすんでくるのを見て、サンバラテは、

はら

とても腹<sup>はら</sup>がたってきました。そこで、かれとその友<sup>とも</sup>だちは、

ひと

ユダヤの人<sup>ひと</sup>をからかいました。トビアは、

い

こんなことを言いましたよ。



「やあい、そんなに、うすっぺらいかべの<sup>た</sup>建てものをつくって、  
どうするんだい？ 小さなキツネがやってきて、こなごなに<sup>し</sup>するだろうさ。」  
ネヘミヤは、いくらからかわれても、知らんかお。かわりに、ただ<sup>いの</sup>祈りました。  
だって<sup>かみ</sup>神さまが、そんなやつらを、さばいてくださるのですから。



ネヘミヤたちを、どんなにからかっても、何の役にもたたないようです。<sup>なん やく</sup>

そこで、かれらはいっしょに計画をたてました。エルサレムを攻めよう、<sup>けいかく</sup> <sup>せ</sup>

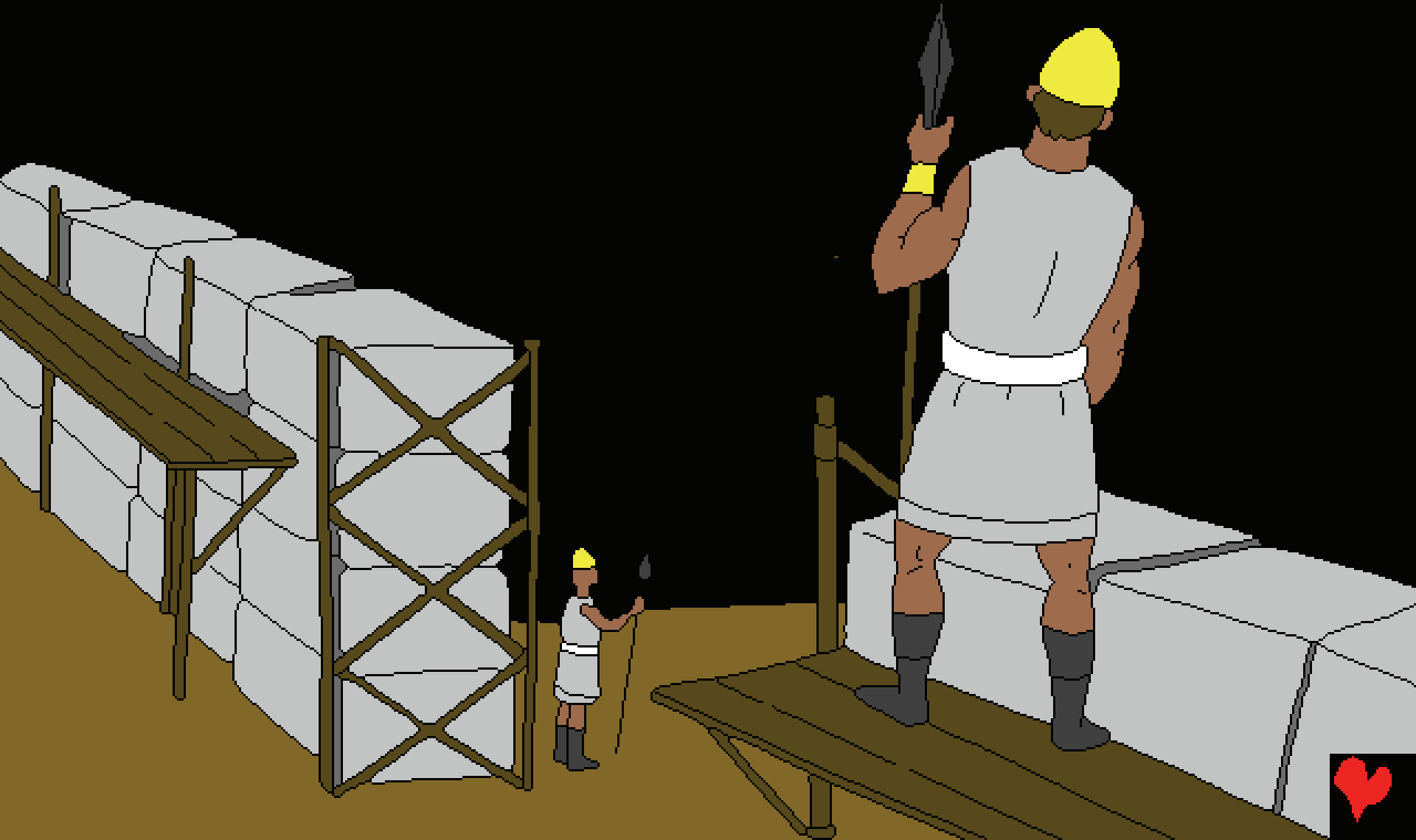
そして町の中にできるだけ争いをおこそうってね。<sup>まち なか</sup> <sup>あらし</sup>

それを知ったネヘミヤは、「神さま、<sup>し</sup> <sup>かみ</sup>  
<sup>たす</sup> 助けてください。」





って、また<sup>いの</sup>祈りました。そして、悪いやつらに、<sup>わる</sup>とつぜん攻められないよう、<sup>せ</sup>ひるも夜も、見はりばんを、おくことにしました。



ひと  
ユダヤの人たちは、

ほんとうにいっしょうけんめい はたら 働きました。  
それで、だんだん、つかれてきたようですよ。

ひと  
ある人たちは、  
なんだかこわくなってきて、

かんが  
こんなことを考えるようになりました。

はたら あいだ せ  
働いている間に、てきが攻めてきて、

じぶん ころ  
自分たちを殺してしまうんじゃないだろうか。それでも、

しごと  
ネヘミヤは、この仕事を、  
とちゅうでやめたりしません。



まわりに見はりの人をおいて、  
みんなをはげしました。  
「わたしたちには、  
どんなに強しいてきよりも、  
もっと強つよい神かみさまが、  
ついていらっしやるんだ。」  
こういって、  
みんなに神かみさまのことを、  
思い出おもさせました。



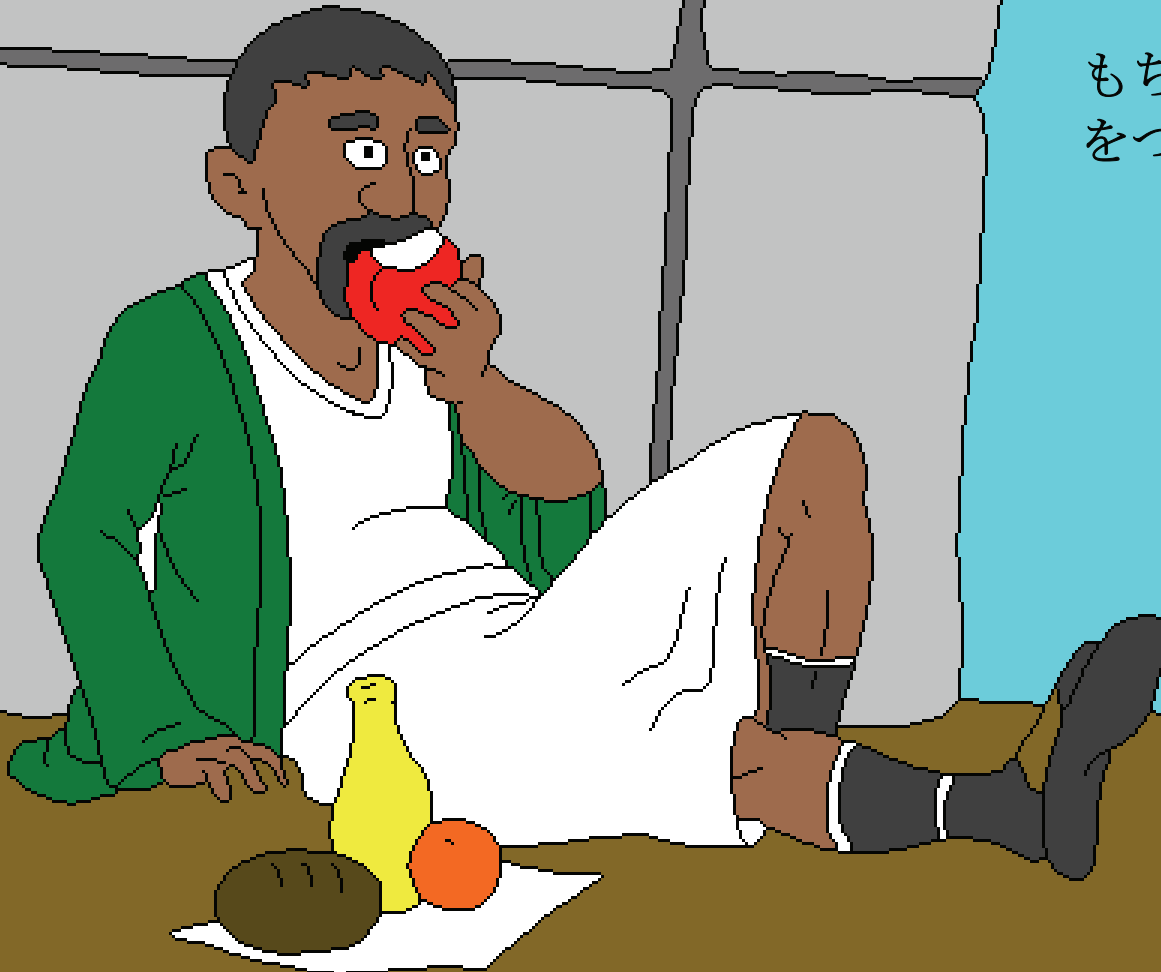
ネヘミヤは、みんなのよい  
てほん  
お手本になろうとしました。

アルタクセルクセス王は、  
おう  
ちょうかん

ネヘミヤをエルサレムの長官にし、  
ひと  
かね た  
人びとからお金や食べものを、  
とりたてることができるよう  
にしました。でもね、かれは、  
そんなことは、  
いっさいしませんよ。



ひとびと  
ただ、人々といっしょに、  
はたら  
いっしょうけんめい働きました。  
あたら  
かべを、新しくしようってね。  
た か  
食べものを買うときは、  
じぶん かね  
もちろん自分のお金  
をつかいますよ。



やっとのことで、人々は、かべをつくり終わりました。<sup>お</sup>

ただし、まん中の門のとびらだけ、まだですね。あれあれっ、

かべがすっかりできあがったことを聞いたサンバラト、トビヤとゲシエム、

なにやら悪いことを思いついたようですよ。ネヘミヤを、<sup>こま</sup>困らせてやろうって。



かれらは、ネヘミヤにメッセージをおく<sup>おく</sup>い<sup>い</sup>を送って言いました。「オノというところで、  
あ<sup>あ</sup>会いましょう。」けれども、ネヘミヤは、かれらが自分をだまして、  
まち<sup>まち</sup>だ<sup>だ</sup>こま<sup>こま</sup>町からつれ出し、困らせようとしているとわかりました。そこで、  
ネヘミヤは、かれらにこのようにへんじを、か<sup>か</sup>書きました。「わたしは、  
あ<sup>あ</sup>あなたたちに会いにいきま<sup>いま</sup>せん。今、しごとをやす<sup>やす</sup>むわけにいかないんです。」



とうとう、かべも、  
とびらもできあがりました。

ネヘミヤは、<sup>まち</sup>町をまもるため、  
<sup>み</sup>あちこちに見はりの人<sup>ひと</sup>  
をおきましたよ。



それから、

ネヘミヤはひとつの<sup>つく</sup>きまりを作りました。





それはね、お日さ  
あから  
まが上<sup>あ</sup>がって、空がほん<sup>ひ</sup>と  
うに明るくなるまで、



もん  
門をあけてはならないってきまりです。  
よる  
夜になると、門をみんなしめてしまい、  
もん  
かんぬきが、かけられました。



まち

あんぜん

せかいじゅう

ひとびと

だから、町はもう安全ですね。世界中においやられたユダヤの人々が、  
またエルサレムにもどってきましたよ。ネヘミヤは、うれしくてたまりません。

どうしてって、たくさんのつらいことをのりこえて、神さまがネヘミヤに与えら  
れた仕事を、さいごま

でやったのですから。  
そのあとも、ネヘミヤは、みんなといっしょにエルサレムに  
住みました。「いつも、

神さまにしたがいま  
しょう。」って  
言って、はげましつ  
づけましたよ。



ネヘミヤの <sup>おお</sup>大いなるかべ  
<sup>かみ</sup>神さまの御ことば、<sup>み</sup>聖書に<sup>せいしょ</sup>記されて<sup>しる</sup>いるおはなしです。

<sup>き</sup>ネヘミヤ記

<sup>み</sup>あなたの御ことばが<sup>ひら</sup>開かれると、<sup>ひかり</sup>光が<sup>あた</sup>与えられます。

<sup>しへん</sup>詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて

わたし なか き つみ わたし いま  
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
いのち  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
こ い  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

